

カムイワッカ地区の運用状況について

（令和4年度カムイワッカ地区利用適正化対策現地管理等総合支援業務 報告書 抜粋）

平成11年（1999年）度以降、カムイワッカ地区では自然環境の保全と快適な利用環境の確保を目的としたマイカー規制を継続して実施している。本業務は、自動車利用適正化対策の円滑な実施と現地状況の適切な把握を目的とし、カムイワッカ地区とそこに至る道路沿線においてマイカー規制の現地運用や関係諸機関との連絡調整等を行うものである。

1. 今年度の全体日程(表1)

1-1 カムイワッカ地区の供用期間

6月1日11:00に知床五湖ゲートの冬季通行止めが解除され、カムイワッカ地区へのアクセスが可能となり、10月3日11:00より冬期閉鎖となった。

1-2 現地管理等の人員配置

カムイワッカ地区の監視員は、7月15日から10月2日まで配置された。また、過年度と同様に、マイカー規制期間には、知床自然センター駐車場及び知床五湖駐車場、知床五湖ゲートに警備員を配置した。加えて知床オータムバスデイズ期間には、幌別ゲートへ警備員を配置した。自由利用期間における混雑日（7月及び9月の連休期間）は、協議会構成団体の出役によってカムイワッカでの交通誘導を実施した。

表1 カムイワッカ地区の全体日程

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全体日程		6/1		8/6 8/15		9/30~10/2
		自由利用期間		マイカー規制期間	自由利用期間	マイカー規制期間
		6/1	道路特例使用			10/2
カムイワッカ地区監視員配置			7/15			10/2
知床自然センター警備員配置				8/6 8/15		9/30~10/2
知床五湖警備員配置 (確認中)	4/29~5/確認中		7月3連休	8/6 8/15	9月3連休	
道の駅警備員配置						9/30~10/2
カムイワッカ 現地混雑対策配置			7/16~7/17		9/18	(9/24は悪天候のため配置なし)

1-3 過年度からの変更点等

(1) 1の滝以奥の利用再開を目指した試行事業の縮小

カムイワッカ湯の滝1の滝上流部について、2021年より利用を再開する試行事業を実施しており、本年度も実施が予定されていた。4月に発生した小型観光船の事故の影響を踏まえ、計画を大幅に縮小し、9月30日～10月2日の3日間のみ個人利用型の試行事業を実施した。

(2) シャトルバスの有償化

知床オータムバスデイズ（9月30日～10月2日）のシャトルバスは、今年度より有償化を実施した。

(3) 道道の供用期間の短縮

カムイワッカ地区において道道の補修工事が実施されることから、カムイワッカに至る知床五湖ゲートは例年より約1か月早い10月3日に冬季閉鎖となった。

(4) カムイワッカ地区での工事实施

カムイワッカゲートから硫黄山登山口に至る区間の山側斜面について、落石防護柵設置工事が実施された。一般利用には差し支えないことから、カムイワッカ地区の利用期間中を通じて実施された。

(5) 道道特例使用期間の変更

硫黄山登山のための道道の特例使用期間が、道道の供用期間と同様となり、実質的な延長となった。今年度は6月1日から10月2日までの期間となった。

2. 現地状況の把握

2-1 トラブル、事故等の報告

(1) 湯の滝地区

湯の滝地区においてトラブル等は10件報告された（表2）。内訳は怪我が2件、ドローン使用への注意が2件、車両トラブルが2件、焚火跡の発見が1件となっている。また、増水、ヒグマ出没による湯の滝エリアの閉鎖が1件ずつ発生した。その他、規制ラインより上流に侵入した利用者が12件（14組21名）報告された。

現地管理活動として毎朝、湯の沢の利用区域内を確認し、転石や落枝があれば適宜除去した。

表2 湯の滝地区におけるトラブルの発生状況

日付	内容	
7月14日	駐車場に停車していた車両への接触事故が発生した。	斜里警察署 ウトロ駐在所
7月19日	14:40頃、入渓地点付近の右岸斜面に0歳1頭連れ親子を確認。利用を中止し、全員退出。入口15m付近まで接近。ヒグマはその後、沢を横断し、左岸斜面を登り、ロスト。全域確認後、15:10利用再開。	監視員日報
7月27日	12:35頃、駐車場でバンク車両発生（現地スタッフと利用者で対応）。	監視員日報
8月 発生日不明	映像撮影会社が利用者が多くいるのにも関わらず、ドローンを操縦していたため監視員が口頭注意。許可証（入林届）を掲示し、利用者がある中で飛行を継続。	環境省
8月8日	ドローンを飛ばそうとしていた利用者がいたため口頭注意。	監視員日報
8月22日	左岸側駐車場に焚火跡（枯れ木、ゴミを燃やした痕跡）を発見。	監視員日報
8月28日	14:15頃、利用者が湯の滝入口の坂を下る際に転倒。顔面左を強打し、顔と両手に擦過傷を負った。	監視員日報
9月7日	前夜の暴風の影響による落枝が川の中にあり、撤去。	監視員日報
9月17日	10:30頃、湯の滝から退出した利用者が湯の滝入口の下り坂で転倒。入口のヒグマ注意看板に頭部を打撲、目立った外傷は無し。	監視員日報
9月20日	増水のため、11:00～14:30まで一の滝より上部を立入禁止とする。	監視員日報

（2） 道道地区

五湖ゲートからカムイワッカまでの道道でのトラブルは2件（表3）で、いずれも交通事故（物損事故）であった。荒天による道路通行止めが1日（6/23）発生した（表4）。

表3 道道地区における交通事故の発生状況

日付	内容	
8月28日	単独事故。10:30頃、カープミラーNo.11付近にて、一般車両が海側の路肩に脱輪。15:00頃、レッカー車、ウトロ駐在所、運転手が合流し現地対応。	監視員日報、 斜里警察署 ウトロ駐在所
9月8日	カムイワッカ林道で車両が標識に衝突(場所不明)。	斜里警察署 ウトロ駐在所

表4 道道地区における道路通行止めの状況

日付	内容	
6月23日	落石の恐れのため17:30よりカムイワッカ林道(五湖ゲート～カムイワッカ間)が通行止めとなった。	五湖フィールドハウス日報
6月24日	昨日17:30より通行止めであったカムイワッカ林道(五湖ゲート～カムイワッカ間)は、朝から悪天候による落石の恐れのため引き続き通行止め。14:00通行止め解除。	自然センター日報

（3） 登山道地区

硫黄山登山道において8月に遭難事故が3件発生した（表5）。いずれも救助要請があり、斜里警察署、斜里消防組合ウトロ分署が出動した。

表5 登山道地区におけるトラブルの発生状況

日付	内容	
8月13日	羅臼岳から硫黄山への縦走者が新噴火口付近で体調不良のため下山不可能に。山岳救助隊が出向き、共に徒歩にて17:00頃下山。 下山後、登山グループのうち1名が、下山後に熱中症になり、救急搬送。	斜里警察署 ウトロ駐在所 斜里地区消防組合 ウトロ分署 監視員日報
8月14日	8月13日 22:00頃に新噴火口にて水分が無くなり脱水症状になったとの通報があり。 翌日(8月14日)4:00頃に警察と共に下山。	斜里地区消防組合 ウトロ分署
8月22日	羅臼岳から硫黄山への縦走者が硫黄山登山口付近で熱中症になった。 18:30頃、消防が出動したが搬送はなし。	斜里警察署 ウトロ駐在所 斜里地区消防組合 ウトロ分署 監視員日報

2-2 ヒグマ出没状況

カムイワッカ地区での目撃件数は66件となり、昨年度と同水準であった（図1）。昨年度より湯の滝地区のヒグマ目撃件数がやや多く、ヒグマによる湯の沢の入渓規制は1件発生した。

また、特記事項として、9月16日に、サイズ不明のヒグマ1頭が工事関係者の車両に手をかけた後、すぐに逃げていったという聞き取り情報があった。翌日現地を調査したところ、車両や工事関連の廃棄物置き場でヒグマによるものとみられる破損が確認された。

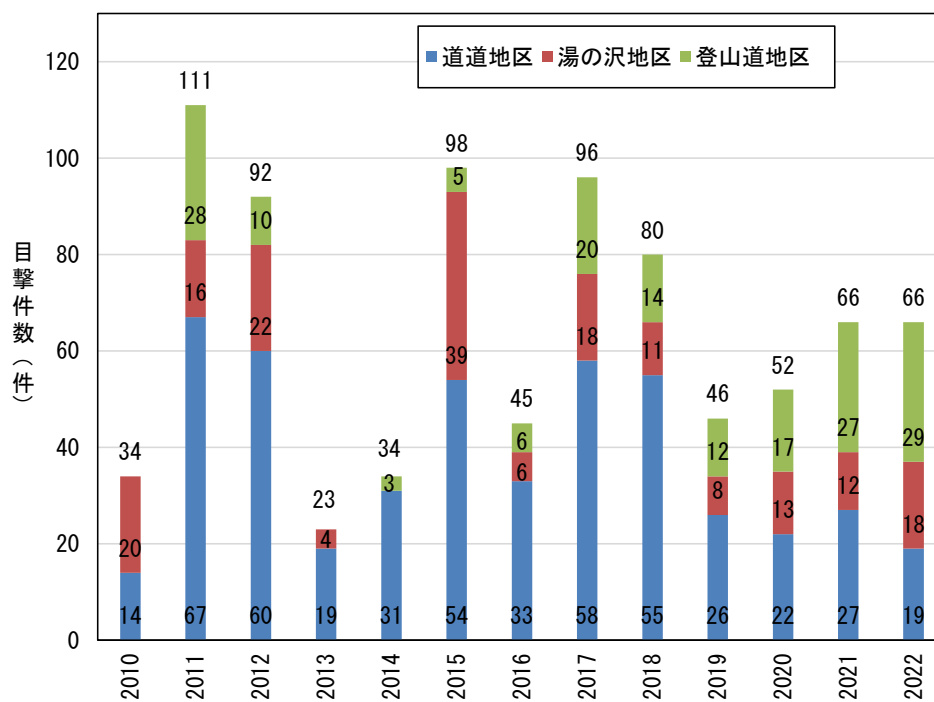


図1 カムイワッカ地区におけるヒグマ目撃件数の年推移